

水稻・麦・大豆栽培情報 2月号

平成27年 2月 3日

J A 柳 川

南筑後普及指導センター

1 生育概況

1 1月下旬の適期に播種できたほ場では、生育は順調で茎数はやや多く、草丈は平年並の状況です。播種が遅れたほ場では、播種後の気温が低く出芽に時間がかかり生育が遅れています。

2 土入れ・麦踏み

土入れ・麦踏みは、2月下旬頃までに3回程度行うのが理想的ですが、土壌水分が高い状態で行うと土壌を締め付け生育を抑制することがありますので、土壌が乾燥した状態で行ってください。

3 雑草防除

ハーモニー75DF 水和剤を散布しても、スズメノテッポウが残る場合、他に登録がある除草剤はありませんので、土入れにより、雑草の生育を抑えて下さい。なお、広葉雑草が多い場合は、下記を参考にアクチノール乳剤またはエコパートフロアブルを散布します。

使用薬剤	対象雑草	使用時期	10a 使用量 (希釈水量)	備考
アクチノール乳剤	一年生 広葉雑草 (カラスノエンドウ)	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	100~200ml (70~100ℓ)	高温時の散布は葉の黄化を生じるので注意する
エコパートフロアブル	一年生 広葉雑草 (ヤムゲラ 2~6 節期)	小麦節間伸長開 始期まで (広葉雑草 2~4 葉期)	50~100ml (100ℓ)	白斑を生じることがあるが、生育には影響しない

※近年、麦のほ場でキンポウゲ類の発生が見られています。この雑草に対しては、バサグラン液剤を10a 当たり 100~200ml (水 70~100L) 散布します。(使用時期：雑草 3~6 葉期、収穫 45 日前まで)

4 その他

追肥の効果を安定させるためには、土入れが効果的です。追肥後はなるべく早く土入れを行ってください。

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベルを確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！